

講演要旨

イスラームとの対話から見る共生——世界宗教の視座から

東洋大学教授

子島進

私の専門は文化人類学です。学生のころから繰り返しパキスタンを訪問し、4年半の調査結果を博士論文にまとめました。現在は、在日ムスリムのコミュニティ形成について調べています（モスクを作り、その周りにハラールのお店ができてくる。学校や墓地を運営するなど）。その際、訪問先でのインタビューを大切にしていますが、多くのムスリムは話し好きです。現実の生活ではいろいろ苦勞もあるのですが、彼らとの対話の窓は常に開かれています。

日本との比較のために、韓国やアメリカのモスクも訪問していますが、イスラームが持つ「普遍性」をいつも目の当たりにしています。どこに行っても、自らの従う教えを明確に語り、可能なかぎり実行しようとしています。とりわけ、困っている人に手を差し伸べる姿（＝喜捨）には、日本人として学ぶべき点がたくさんあり、共生のためのヒントも多く含まれていると感じています。